技術情報

弊社の油圧作動油清浄度（コンタミネーション）

堀内機械における油圧シリンダの出荷検査用の油圧ユニットに使用する油圧作動油の清浄度（コンタミネーション）は、廃止されたJISB8367:1991及びJISB8354:1992の油圧シリンダの性能及び試験基準に基づき、清浄度NAS等級11級を管理基準と定め本年度まで管理してまいりました。
2011年度よりお客様のご要望に応えして、弊社の所有する油圧ユニットタンク内の油圧作動油の清浄度をNAS等級9級として管理してまいります。

■油圧作動油（JISK2213 の第2種ISO粘度グレードVG32相当）

銘柄:ダフニーフルイド32VP（出光興産）

■新清浄度管理値:NAS1638清浄度9級

（100ml中の個数）

粒径の範囲	7級	8級	9級	10級	11級
5～15μm未満	32000	64000	128000	256000	512000
15～25μm未満	5700	11400	22800	45600	91200
25～50μm未満	1012	2025	4050	8100	16200
50～100μm未満	180	360	720	1440	2880
100μm以上	32	64	128	256	512

■管理方法

1	社内清浄度検査:この検査は簡易汚染分析法（コンタミチェッカー）を用いて、標本（比較見本）を作成し、簡易的に比較評価を行う。 測定周期:12回／年（毎月）
2	外部清浄度検査:この検査は外部機関（出光興産）にて作動油の清浄度・作動油の性状（動粘度・酸価・塩基価・水分含有量）を評価する。 測定周期:2回／年（1月・7月）
3	清浄度管理維持:NAS等級9級の管理維持には、油圧ユニットタンク内のコンタミネーションを除去するために静電浄油機を全ての油圧ユニットに設置する。 その他、静電浄油機のフィルタ及びサクション・ラインフィルタを定期的に確実に交換する。